

## 薬学研究科アドミッション・ポリシー

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、薬学研究科では、生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学、医療薬学の発展を主導し、「ものづくり（創薬）」に貢献することができる優れた人材を育成するために、研究を通して培った論理的かつ柔軟な思考力と、豊かな創造性を備えた人を求めます。

上記のような薬学の発展を主導できる人材の育成教育に値する学生を見出すために、創成薬学専攻の博士前期課程では、出身学部を限定しない一般入試を行っています。

また、グローバルな多様性を確保するため、社会人特別入試や外国人留学生特別入試を行い優秀な学生の受け入れに努めています。

創成薬学専攻博士後期課程及び医療薬学専攻博士課程でもそれぞれ2回の入試を行い、同様に、社会人や留学生も含めた多様な研究教育背景を持つ優秀な学生の受け入れに努めています。

さらに、連携大学院を構成する在京の講座に入学を希望する者には同時期に東京入試を実施しています。

### <創成薬学専攻博士前期課程>

#### 【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーの下、薬学研究科創成薬学専攻博士前期課程では、学習目標に定める「最先端かつ高度な専門性と深い学識」「高度な教養」「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」を身につけることにより、次世代の我が国の「ものづくり（創薬）」の文化を支えることができる基礎研究者、さらには創薬基礎研究に加え環境科学、レギュラトリーサイエンスの分野で活躍し、総合的に革新的医薬品創出、医療・生命科学の発展に貢献できる優れた薬学研究者を育成します。

この目的のために、ヒトの健康・医療・福祉の課題や問題点を理解し、その解決に向けて生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学の基礎研究に打ち込み、薬学の発展に寄与する熱意と志を有する学生を求めています。

そのために、大学（4年制）卒業までに修得してほしい資質・能力として以下の点を挙げます。

- (1) 入学後の生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学等の薬学専門分野における卓越した「創薬基盤技術力」を修得するために、有機化学、生物科学、物理化学などの幅広い基礎学力を有する。
- (2) ヒトの健康・医療・福祉における課題や問題点に深い関心を持ち、これらを複眼的に理解し、その解決に向けた論理的な考察ができる。
- (3) 他の薬学研究者と積極的かつ協調性を持って関わり、相互理解を得ることができコミュニケーション能力を有する。
- (4) 目的意識を持って主体的かつ積極的に修学を進め、課題解決を通して社会に貢献する意欲と使命感を有する。
- (5) 薬学基礎研究に携わる者にふさわしい人間性と倫理観を有する。

(6) 世界を視野に入れた異文化社会に関心を持ち、積極的な関わりを志向する意欲を有する。

### 【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、出身学部を限定しない一般入試を行っています。

また、グローバルな多様性を確保するため、社会人特別入試や外国人留学生特別入試を行い優秀な学生の受け入れに努めています。

### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

求める人材像の資質・能力を適切に評価し選抜を行うために、

1. 一般入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

筆記試験：(1) (2) 、口頭試問：(1) ～ (6)、

英語：(3) (6)、出願書類：(1) ～ (6)

2. 社会人特別入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問： (1) ～ (6)、英語：(3) (6)、出願書類：(1) ～ (6)

3. 外国人留学生特別入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問： (1) ～ (6)、英語：(3) (6)、出願書類：(1) ～ (6)

### <創成薬学専攻博士後期課程>

#### 【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーの下、薬学研究科創成薬学専攻博士後期課程では、学習目標に定める「最先端かつ高度な専門性と深い学識」「高度な教養」「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」を身につけることにより、ライフサイエンスの最先端でグローバルに活躍でき、次世代の我が国の「ものづくり（創薬）」の文化を支えることができる基礎研究者、さらには環境科学、レギュラトリーサイエンスの分野で活躍し、総合的に革新的医薬品創出、医療・生命科学の発展に貢献できる優れた薬学研究者を育成します。

この目的のために、ヒトの健康・医療・福祉の課題や問題点を理解し、その解決に向けて生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学の基礎研究から更には創薬応用研究にも打ち込み、薬学の発展に寄与する熱意と志を有する学生を求めています。

そのために、博士前期課程修了までに修得してほしい資質・能力として以下の点を挙げます。

(1) 入学後の生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学等の薬学専門分野における更に卓越した「創薬基盤技術力」を修得するために、有機化学、生物科学、物理化

学などの幅広い基礎学力及び高度な専門学力を有する。

- (2) ヒトの健康・医療・福祉における課題や問題点に深い関心を持ち、これらを複眼的に理解し、論理的な考察により解決ができる。
- (3) 薬学及び異分野の研究者と積極的かつ協調性を持って関わり、相互理解を得ることができるコミュニケーション能力、更にはリーダーシップを有する。
- (4) 目的意識を持って主体的かつ積極的に修学を進め、課題解決を通して社会に貢献する意欲と使命感を有する。
- (5) 薬学基礎研究に携わる者にふさわしい人間性と倫理観を有する。
- (6) 世界を視野に入れた異文化社会に関心を持ち、積極的に関わることができる。

### 【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、出身学部を限定しない一般入試を行い、広く優秀な人材の受け入れを行っています。

また、グローバルな多様性を確保するため、社会人特別入試や外国人留学生特別入試を行い優秀な学生の受け入れに努めています。

### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

求める人材像の資質・能力を適切に評価し選抜を行うために、

1. 一般入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問： (1)～(6)、英語： (3)(6)、出願書類：(1)～(6)

2. 社会人特別入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問： (1)～(6)、英語： (3)(6)、出願書類：(1)～(6)

3. 外国人留学生特別入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問： (1)～(6)、英語： (3)(6)、出願書類：(1)～(6)

### <医療薬学専攻博士課程>

#### 【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーの下、薬学研究科医療薬学専攻博士課程では、学習目標に定める「最先端かつ高度な専門性と深い学識」「高度な教養」「高度な国際性」及び「高度なデザイン力」を身につけることにより、世界をリードする先導的医療人の輩出を目指して、卓越した「創薬臨床力」を有する人材を育成します。

すなわち、優れた研究能力に裏打ちされた高度かつ多様な知識や技能を有し、医療・臨床薬学、トランスレーショナルリサーチ、医薬品開発研究の最先端でグローバルに活躍し、医療現場における臨床的な課題を主導的に解決できる医療薬学研究者の輩出を目指します。

この目的のために、ヒトの健康・医療・福祉の課題や問題点を理解し、その解決に向けて生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学の基礎研究から更には医療・臨床薬学研究にも打ち込み、薬学の発展に寄与する熱意と志を有する学生を求めています。

そのために、大学（6年制）卒業までに修得してほしい資質・能力として以下の点を挙げます。

- (1) 入学後の生命科学、創薬科学、社会・環境衛生薬学、医療薬学などの薬学専門分野における更に卓越した「創薬基盤技術力」を修得するために、有機化学、生物科学、物理化学、臨床薬理学などの幅広い基礎学力及び高度な専門学力を有する。
- (2) ヒトの健康・医療・福祉における課題や問題点に深い関心を持ち、これらを複眼的に理解し、論理的な考察により解決ができる。
- (3) 他者と積極的かつ協調性を持って関わり、相互理解を得ることができるコミュニケーション能力、更にはリーダーシップを有する。
- (4) 目的意識を持って主体的かつ積極的に修学を進め、課題解決を通して社会に貢献する意欲と使命感を有する。
- (5) 医療・臨床に携わる者にふさわしい人間性と倫理観を有する。
- (6) 世界を視野に入れた異文化社会に関心を持ち、積極的に関わることができる。

### 【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、出身学部を限定しない一般入試を行い、広く優秀な人材の受け入れを行っています。

また、グローバルな多様性を確保するため、社会人特別入試や外国人留学生特別入試を行い優秀な学生の受け入れに努めています。

### 【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

求める人材像の資質・能力を適切に評価し選抜を行うために、

1. 一般入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問：（1）～（6）、英語：（3）（6）、出願書類：（1）～（6）

2. 社会人特別入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問：（1）～（6）、英語：（3）（6）、出願書類：（1）～（6）

3. 外国人留学生特別入試においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。

口頭試問：（1）～（6）、英語：（3）（6）、出願書類：（1）～（6）

